

松山市教育会情報



発行所 松山市教育会
 松山市祝谷町1-5-33
 ☎ 089-933-0354
 ホームページアドレス
<http://matsuyouikukai.main.jp/>
 発行者 小野 誠 一
 編集 調査研究部

ごあいさつ



会 長
小 野 誠 一



「子規さん俳句かるた」より

松山市教育委員会 編
 松山市立子規記念博物館 監修

社会生活の様々な場面に深刻な影響をもたらした新型コロナウイルス感染症対策が3年目を迎えています。今年のゴールデンウィークでは、多くの人で混雑する観光地やライブの映像が流れ、帰省で2年ぶりに孫を連れて帰りましたとの声も聞きました。半面、県外や観光地に行く気になりませんとの声、多くの方がまだまだ感染状況を気にする日々を過ごしていると思います。

さて、このたび、松山市教育会会長の職を務めさせていただくことになり、ウィズコロナの時代にどこまでお応えできるか心もとない状況です。しかし、会員の皆様のご協力とご支援をいただきながら、役員や事務局の方々とともに松山市教育会の活動に取り組んで参ります。

この2年間、松山市教育会では、一部中止することはありましたが、適切な感染対策を講じながら「まつやま教育フォーラム」「教育を語る会」「高齢慶祝者・教育功労者・報償者の表彰」「文化講座」等を行い、会員の交流を図ったり、研修を深めたりすることができました。しかし、支部活動においては、定例の活動を中止せざるを得ない状況が続いています。私の支部でも、「グラウンドゴルフ大会」や「総会・懇親会」等が開催できていません。退職会員にとって、健康維持のためにも会員相互の交流は大切と考えています。

学校現場では、入学式や卒業式、修学旅行、運動会や文化祭等について延期や規模の縮小を図り、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、子どもたちの熱意に応えたいとの思いで対応してきました。昨年、感染状況が少し落ち着いた中、体育大会を観戦する機会がありました。以前と違い、肩を組んだり大きな声を出したりできるわけではありませんが、一人一人が競技できることを楽しみ、全員で盛り上げていこうという熱気が感じられました。後日、校長先生からも生徒たちの思い出に残る大会になりましたとお言葉を聞くことができました。授業においてもタブレット端末の整備が進み、一人一台端末の活用により学校や家庭での学習が大きく変わり始めています。半面、その飛躍的な導入により、情報モラルやセキュリティ対策など子どもたちの情報活用能力の向上も学校に課せられた待ったなしの課題です。

松山市教育会は、現退一体の組織です。ウィズコロナの中、会員の皆様とともに今できる活動を誠実に取り組みます。最後に、退職会員の中には学校の教育活動を支援したいとの声が多くあり、同時に学校からは人材活用の希望が多いのが現状です。双方の願いをつなげる「チーム学校人材バンク」への登録をぜひお願いします。

令和3年度 会務並びに事業報告

松山市教育会

1 会員構成

		令和3年度	令和2年度	増減	備考
普通会員	現職会員	2,034名	2,046名	△12名	会費納入者数
	退職会員	816名	833名	△17名	
特別会員		20名	24名	△4名	
賛助会員(P T A等)		23名	23名	0名	
合計		2,893名	2,926名	△33名	

2 役員(任期2年の2年目)

会長	堀内 秀 樹	副会長	中野 公 雅
副会長	濱田 澄 江	監 事	道上 修 二
副会長	高岡 秀 人	監 事	織田 康 道
副会長	稲田 直 行	※理事・専門部員は省略	

3 行事報告

月	日	行 事 名	概 要
4	1	退職会員名簿作成申込書	前年度末退職会員から支部を通じて提出
4	20	会計監査	監査
4	20	役員会(会長・副会長)	事業報告・決算・活動方針・予算案等の審議
5	11	第1回 理事会	総会資料の審議 ※ 書面表決
5	15	定期総会	事業報告・決算・活動方針・予算・役員選出 ※ 書面表決
4	27	会費集金開始	納入期限 6月30日
6	25	第2回 理事会・専門部員会	部編成・活動計画・支部長会資料審議 ※ 延期開催
7	9	第1回 支部長・事務局長会	専門部の活動計画
8		高齢者慶祝記念品配布	～9月20日 支部長(事務局長)を通じて本人の元へ
9	7	教育功労者推薦委員会	推薦者審議 県2名、市8名を推薦
9	9	第3回 理事会 一専門部会	教育功労者選考、まつやま教育フォーラム等運営審議
9	24	第2回 支部長会	夏季行事報告・教育功労者推薦の件 ※ 中止
10	23	えひめ教育の日推進大会	内子町共生館で開催
11	6	まつやま教育フォーラム 2021	講演 「誰でも書けるって本当に？」 ～ショートショートの書き方講座と、そのすすめ～ 講師 田丸 雅智 氏
12	17	役員会	本年度事業の反省と来年度事業の方向付け
1	8	教育を語る会(市教研と共催)	講演 「地域とともにある学校づくりのキーワード」 講師 愛媛大学教職大学院 特定教授 遠藤 敏朗 氏
1	16	松山市青少年育成市民大会	松山市教育会に参加要請 ※ 中止
1	28	第4回 理事会	本年度の反省と来年度の計画 ※ 書面表決
2	9	第3回 支部長会	本年度の反省と来年度の計画 ※ 中止

4 主要行事及び専門部活動

- (1) 「まつやま教育フォーラム2021」 11月6日(土曜日)「えひめ教育の日」関連行事
- ア 開会式 会長挨拶、来賓祝辞
※シンボルマーク受賞者表彰(最優秀賞 八木 誠一 氏)
(優秀賞 杉野 卷男 氏・大川 博司 氏・真部 佐恵 氏)
- イ 講演会 演題 「誰でも書けるって本当に？」 ～ショートショートを書き方講座と、そのすすめ～
講師 田丸 雅智 氏
- ウ 懇親会 ※中止 教育功労者・報賞者・高齢慶祝者・シンボルマーク受賞者に祝折
- (2) 調査研究部
- ア 教育講座 ※中止(松山市教育会情報で紙面研修)
- イ 会報「松山市教育会情報」 103号(6月10日発行) 104・105号合併号(2月1日発行)
- ウ 「文教月報」執筆協力
- エ 人材バンク設立とチーム学校スペシャリスト養成講座受講補助 令和3年度人材バンク登録者数 17名
- (3) 福利厚生部
- ア 文化講座
- (ア) 川柳教室 月1回(第3水曜日) 12名 ※4回中止 講師 栗田 忠士 先生
- (イ) 俳句交換会 毎月 12名 講師 吉田 晃 先生 吉田 博子 先生
- (ウ) ヨガ講座 月1回(第2土曜日午後) 20名 ※3回中止 講師 脇坂 恭子 先生
- (エ) 詩吟教室 月2回(月曜日午前) 15名 ※8回中止 講師 伊賀上峰山 先生
- (オ) ピラティス教室 月1回(第1土曜日午前) 28名 ※4回中止 講師 木下 絵理 先生
- イ 慶弔関係
- (ア) 高齢慶祝者
- 白寿(令和3年度中に満99歳を迎えられた方) 3名
品川 良雄 氏(清水支部) 高橋 初美 氏(中島支部) 阿部 淳敬 氏(福音支部)
- 傘寿(令和3年度中に満80歳を迎えられた方) 15名
増井 秀憲 氏(味酒支部) 武智 義和 氏(素鷺支部) 石田 悌昌 氏(道後支部)
和田 和子 氏(道後支部) 森 哲也 氏(湯山支部) 姫田 美幸 氏(石井北支部) 池本 裕子 氏(みどり支部)
田中 寛 氏(正岡支部) 横田 勇三 氏(北条支部) 村上由美子 氏(北条支部) 永井 邦夫 氏(河野支部)
安倍 康彦 氏(栗井支部) 近藤 誠 氏(栗井支部) 岡田 正夫 氏(栗井支部)
- (イ) 教育功労者(令和2年度分)
- 県表彰 松田 邦雄 氏(桑原支部)
- 市表彰 8名
友近 裕識 氏(久米小) 三好 建次 氏(福音小) 高田 誠 氏(道後中) 濱本 順子 氏(北条小)
牟田 智子 氏(久米中) 久保田 真 氏(内宮中) 相原 真紀 氏(雄新中) 堀内 弥生 氏(西中)
※ 学校名は退職当時のもの
- (ウ) 報賞者(本会役員在任4年以上の退任者)
- 退職会員 10名
落合 常章 氏(東雲支部) 高橋 猛 氏(石井東支部) 忽那 祐三 氏(浅海支部) 関谷 芳郎 氏(さくら支部)
西原 司 氏(小野支部) 濱本 昇 氏(栗井支部) 石丸 誠司 氏(石井東支部) 森本 源 氏(湯山支部)
沖田 義朝 氏(宮前支部) 中山 正信 氏(さくら支部)
- 現職会員 2名
悦内 誠二 氏(福音小) 玉井 知津江 氏(愛大附幼)
- (エ) 現職表彰祝金該当者
- 教育者文部科学大臣表彰 0名
- 文部科学大臣優秀教職員表彰 2名 行元 千景 氏(浮穴小) 森川 幸子 氏(北条北中)
- 愛媛県優良教員表彰 7名 佐伯 理子 氏(湯築小) 田辺 淳子 氏(日浦小) 猪崎 誠二 氏(石井北小)
吉弘 祐治 氏(姫山小) 二宮 恒章 氏(余土中) 竹内 菊子 氏(余土中)
加地 直子 氏(久米中)
- 愛媛県教育選賞表彰 3名 稲田 直行 氏(東雲小) 玉井 啓二 氏(垣生小) 中野 公雅 氏(拓南中)
- 松山市教職員教育長表彰 3名 高岡美和子 氏(さくら小) 森田 君香 氏(姫山小) 坪田美知子 氏(西中)
- (オ) 会員物故者 23名
- ウ エスポワール愛媛文教会館飲食補助(現職会員対象) 50名
- (4) 対策部
- ア 教育を語る会…… 1月8日(土曜日) ※市教研と共催で実施
講演 「地域とともにある学校づくりのキーワード」
講師 愛媛大学教職大学院 特定教授 遠藤 敏朗 氏
- イ 松山市青少年健全育成市民大会参加 ※中止

5 令和3年度 受賞者(令和4年度定期総会にて表彰)

- (1) 教育功労者
- <県表彰> 渡部 英綱 氏(八坂支部) 田中 綾子 氏(石井支部)
- <市表彰> 松岡 紀雄 氏(八坂支部) 関谷 芳郎 氏(さくら支部) 高岡 秀人 氏(小野小)
稲田 直行 氏(東雲小) 中野 公雅 氏(拓南中) 鳥山 寿美 氏(旭中)
川淵 光納 氏(久米中) 鎌河内 薫 氏(双葉小) ※ 学校名は退職当時のもの
- (2) 報賞者(理事・支部長・支部事務局長等、役員在任4年以上の退任者)
- 退職会員 田中 康子 氏(正岡支部) 加藤 和子 氏(番町支部) 山高 吉仁 氏(垣生支部)
鈴木 清 氏(潮見支部) 田中 勝 氏(高浜支部) 矢野 聖寿 氏(雄郡支部)
古見 康浩 氏(味酒支部・新玉小) ※ 学校名は退職当時のもの
- 現職会員 熊 広明 氏(素鷺小) 神野 浩彦 氏(湯山小) 渡部 和寛 氏(窪田小)
小笠原陽二 氏(姫山小) 大久保美香子 氏(立岩小) 渡邊真由美 氏(拝志小)

令和3年度 決算書

松山市教育会

歳入

款項	目	予算額	決算額	比較増減(△)	付記
I	総収入	6,127,425	6,083,931	△ 43,494	
	1 繰越金	1,737,395	1,737,395	0	前年度からの繰越金
	2 会費	4,340,000	4,286,500	△ 53,500	OB1,500×816名+現1,500×2,034名+500×賛23名
	3 助成金	25,000	40,000	15,000	
	4 雑収入	25,030	20,036	△ 4,994	利息・その他

歳出

款項	目	予算額	決算額	比較増減(△)	付記
II	総支出	6,127,425	4,220,071	1,907,354	
	1 事務局費	498,100	488,086	10,014	
	① 事務手当	380,000	380,000	0	職員手当
	② 事務用品費	50,000	43,010	6,990	用紙・封筒・文具等
	③ 通信運搬費	68,100	65,076	3,024	切手・はがき・送料等
	2 会議費	671,000	231,880	439,120	
	① 総会費	225,000	0	225,000	旅費・会場費・資料
	② 理事会費	150,000	50,520	99,480	旅費・会場費(2回)
	③ 支部長会費	224,000	110,654	113,346	旅費・会場費(1回)
	④ その他の会議費	72,000	70,706	1,294	旅費・会場費(監査・役員会・功労者推薦委員会等)
	3 支部活動費	1,516,000	1,502,000	14,000	各支部へ400円×(OB816名+現職2,034名) ブロックへ40,000円×9
	4 調査研究費	111,000	42,840	68,160	教育講座・部会費等
	5 福利厚生費	1,525,000	834,033	690,967	慶弔費・文化講座・部会等、会館飲食補助券
	6 対策費	82,000	56,750	25,250	研修会・部会等
	7 広報費	255,000	234,432	20,568	「市教育会情報」2回発行
	8 記念事業費	455,000	425,126	29,874	「フォーラム2021」(えひめ教育の日関連事業)
	9 日連教大会費	99,000	10,500	88,500	参加費(香川大会)
	10 補助金・負担金	282,000	250,000	32,000	市教研大会研修補助金積立、各種団体負担金
	11 予備費	633,325	144,424	488,901	市教育会旗作成費用等

本年度剰余金

1,863,860

(総収入決算額)-(総支出決算額)

本年度剰余金処分案

非常変災対応基金	100,000
次年度への繰越金	1,763,860

令和4年度 活動方針並びに事業計画

松山市教育会

1 活動方針

- (1) 組織の活性化
 - ① 支部活動等の円滑な推進を図る組織体制の充実・強化
 - ② 現職会員と退職会員との連帯提携の緊密化
 - ③ 本支部間の連絡の緊密化
 - ④ 新退職者の会員継続の推進と賛助会員の勧誘による組織の充実・強化
- (2) 会員の親和と厚生・研修活動の充実
 - ① 調査研修活動の充実
 - ② 広報活動の充実
 - ③ 現職会員の研修活動への支援強化
 - ④ 会員相互の親和連携の推進
- (3) 関係諸団体・地域社会との連携強化
 - ① 「えひめ教育の日」への参加協力と愛媛県教育会活動との連携
 - ② 青少年の健全育成活動と関係諸機関との連携
 - ③ 公民館等の社会教育活動と連携した学校支援活動の強化
 - ④ コミュニティ・スクール構想への参画と人材バンクの充実

2 事業計画

- (1) えひめ教育の日記念
「まつやま教育フォーラム2022」
11月5日(土曜日)
 - ① 開会式
会長挨拶、来賓祝辞
 - ② 講演会
教育講演会等
 - ③ 懇親会
教育功労者・報賞者・高齢慶祝者の祝賀および会員の懇親を行う。
- (2) 調査研究活動
 - ① 教育講座の開設
夏季休業中に1回
 - ② 第34回松山市教育研究大会に対する援助・協力(最終年次(R5)に研修費補助)
 - ③ 日連教大会への参加(研修補助)

- ④ 会報「松山市教育会情報」の充実
(年3回発行)106号(6月1日発行)
107号(10月1日発行)
108号(2月1日発行)
- ⑤ 「文教月報」執筆協力
- ⑥ チーム学校スペシャリスト養成講座受講補助と人材バンクの充実
- (3) 福利厚生活動
 - ① 各種同好グループの活動に対する育成援助
 - ア 川柳教室(退職会員のみ)
月1回(第3水曜日午後)
講師 栗田 忠士 先生
 - イ 俳句交換会 毎月
講師 吉田 晃 先生
講師 吉田 博子 先生
 - ウ ヨガ講座
月1回(第2土曜日午後)
講師 脇坂 恭子 先生
(ひふみヨガ)
 - エ 詩吟教室(原則 退職会員のみ)
月2回(月曜日午前)
講師 伊賀上 峰山 先生
 - オ ピラティス教室
月1回(第1土曜日午前)
講師 木下 絵理 先生
 - ② 慶弔関係
 - ア 高齢慶祝者
白寿(本年度中に満99歳になられる方)4名
傘寿(本年度中に満80歳になられる方)17名
 - イ 物故者への弔慰(支部長と連携)
 - ③ エスポワール愛媛文教会館飲食補助(現職会員対象)
- (4) 対策活動
 - ① 「教育を語る会」(1月7日)の企画・運営(市教研と共催)
 - ② 「松山市青少年育成市民会議」との連携・協力
 - ③ 教育関係諸機関・地域社会との連絡提携とボランティア活動の推進

令和4年度 予算書

松山市教育会

歳入

款項	目	本年度予算	前年度予算	比較増減(△)	付記
I	総収入	6,100,400	6,127,425	△ 27,025	
	1 繰越金	1,763,860	1,737,395	26,465	前年度からの繰越金
	2 会費	4,271,500	4,340,000	△ 68,500	OB1,500×820名+現1,500×2,070名+500×賛25名
	3 助成金	40,000	25,000	15,000	県教育会から
	4 雑収入	25,040	25,030	10	利息・その他

歳出

款項	目	本年度予算	前年度予算	比較増減(△)	付記
II	総支出	6,100,400	6,127,425	△ 27,025	
	1 事務局費	510,580	498,100	12,480	
	① 事務手当	400,000	380,000	20,000	職員手当
	② 事務用品費	50,000	50,000	0	用紙・封筒・文具等
	③ 通信運搬費	60,580	68,100	△ 7,520	切手・はがき・送料等
	2 会議費	691,000	671,000	20,000	
	① 総会費	225,000	225,000	0	旅費・会場費・資料
	② 理事会費	150,000	150,000	0	旅費・会場費(4回)
	③ 支部長会費	224,000	224,000	0	旅費・会場費(3回)
	④ その他の会議費	92,000	72,000	20,000	旅費・会場費(監査・役員会・功労者推薦委員会等)
	3 支部活動費	1,508,000	1,516,000	△ 8,000	各支部へ400円×(OB820名+現職2,070名) ブロックへ40,000円×9
	4 調査研究費	76,000	111,000	△ 35,000	チーム学校スペシャリスト養成講座受講補助 教育講座・部会費等
	5 福利厚生費	1,395,000	1,525,000	△ 130,000	慶弔費・文化講座・部会等、会館飲食補助券
	6 対策費	92,000	82,000	10,000	研修会・部会等
	7 広報費	255,000	255,000	0	「市教育会情報」3回発行
	8 記念事業費	455,000	455,000	0	「フォーラム2022」(えひめ教育の日関連事業)
	9 日連教大会費	161,000	99,000	62,000	旅費・参加費(東京大会)
	10 補助金・負担金	282,000	282,000	0	市教研大会研修補助金積立、各種団体負担金
	11 予備費	674,820	633,325	41,495	

別途積立金

非常変災対応基金	500,000	令和3年度	100,000
		令和2年度	400,000

令和4年度 松山市教育会役員名簿

役職名	氏名	学校名・支部名	出身役職名	備考
会長	小野 誠一	味生支部	O B・支部長	新規
副会長	廣藤 まゆみ	姫山支部	O B・支部長	新規
副会長	茨木 里子	荏原小	市教研会長	新規
副会長	尾脇 康資	番町小	小校長会長	新規
副会長	清川 宜博	道後中	中校長会長	新規

O B

役職名	氏名	支部名	出身役職名	備考
1区理事	菅田 顕	清水支部	O B・支部長	新規
2区理事	白石 弘子	新玉支部	O B・支部長	新規
3区理事	替地 和人	生石支部	O B・支部長	新規
4区理事	金本 和樹	中島支部	O B・支部長	新規
5区理事	窪田 博繼	みどり支部	O B・支部長	新規
6区理事	堀内 靖志	湯山支部	O B・支部長	新規
7区理事	藤川 典子	石井支部	O B・支部長	新規
8区理事	深井 泰	福音支部	O B・支部長	新規
9区理事	金子 秀樹	難波支部	O B・支部長	

現職

役職名	氏名	学校名	市教研役職名	備考
理事	西岡 香恵	東雲小	市教研副会長	
理事	池田 浩二	内宮中	市教研副会長	新規
理事	田中美紀	垣生小	市教研副会長	新規
理事	悦内 誠二	福音小	研究部長	新規
理事	金本 茂樹	椿中	法制対策部長	
理事	山本 美喜	日浦小中	情報宣伝部長	
理事	渡部 和寛	窪田小	編集部長	新規
理事	川崎 洋幸	河野小	福利厚生部長	新規
専門部員	松本 謙一	窪田小	壮年部代表男	新規
専門部員	福島 美保	道後中	壮年部代表女	新規
専門部員	砂田 眞吾	粟井小	青年部代表	新規
専門部員	坂本 千咲恵	湯山小	事務職員部代表	新規
専門部員	村上 達哉	難波小	へき地・小規模校部代表	新規
専門部員	市川 美智代	南第二中	養護教員部代表	新規
専門部員	重松 裕子	北条南中	栄養教員部代表	
専門部員	高月 知代	清水小	小学校教頭会代表	
専門部員	日野 伸介	北条南中	中学校教頭会代表	新規

役職名	氏名	学校名・支部名	出身役職名	備考
監事	渡邊 恵理	湯山支部	O B	新規
監事	萩山 雅彦	余土中	市教研監事	新規
事務局	山地 裕司	愛媛文教会館内	市教研事務局	
	大田 宏美			

文化講座紹介

—令和3年度会員の作品—

●俳句

古暦母老ゆ若尾文字老ゆ

池田 本庄

冬銀河下駄音ひびく湯治宿

小池 郁子

ゆらゆらと山の釣り釜春の風

田中 勝

禁煙の男眺むる水中花

姫田 みゆき

灯を消して十六夜の月ほしいまま

姫野 だるま

沐浴の桶に浮かべる小粒柚

松任谷 由実男

鯛焼きのはふはふ湯気も半分こ

松本 豊香

六月や秋田の杉に喪服掛け

宮田 頼行

余生とは歩くことらし山笑う

三好 靖子

遠き日の疎開の里は麦の秋

森田 章夫

退任のご挨拶

前松山市教育会会長 堀内 秀樹

2年前、新型コロナウイルス感染症の流行とともに会長に就任しました。この2年間、まさにコロナ一色で、予定していた諸事業も中止せざるを得ないものが多く生じ、本来の目標が十分に達成できずに任期が終わってしまうこと、会員の皆様に改めてお詫びを申し上げます。就任あいさつの中で「感染症の脅威を思い知らされています。」などとお書きましたが、まさか2年後まで、しかもこのような厳しい状況が続くとは思ってもいませんでした。

この2年間を振り返ってみますと、極めて厳しい状況下ではありましたが、役員の皆様方や事務局に支えられ、若干の成果ともいえる活動・事業を展開することもできました。まず本会支部活動の活性化を目指して「支部活動検討委員会」を立ち上げ、「支部の組織活動に関する調査」を行い、その結果に基づいて会則の変更や組織活動の見直しを行うことができたことが挙げられます。会則変更により複数の小学校単位で支部を置くことができるようになりました。現在のところ支部の合併等につながった事例はありませんが、今後複数の小学校区での支部活動も現実のものとなってくると思います。また、この調査をもとに学校現場のニーズに退職会員の力を生かしていただくために「チーム学校人材バンク」を立ち上げたことも成果に挙げられます。この人材バンクを通して、実際に学校現場で活躍されている退職会員の方も複数名いらっしゃいます。また、現在課題となっている「コミュニティ・スクール」の具現化のために学校運営委員会に教育会がどのようにかわっていくかということについて活動方針に掲げていく段階までは進めることができました。他にも会員の一体感を醸成するためシンボルマークの募集を行い、昨年5月決定することができました。さらに図案をもとに会旗を作成することもできました。

現在、本会の最も大きな課題は、現職会員から退職会員に移行する際、つまり退職時に退会してしまう会員が多いことが挙げられます。このことは、現退一体で活動している本会の存在意義にも直結していることであり、どうしても会員の皆様が入会していることに意義を感じ、教育の発展につながる組織活動を展開していくことが肝要であると思います。今後、私自身も一会員としてできる範囲で協力していきたいと考えています。最後になりますが、次期役員の皆様のご活躍をご祈念するとともに、本会のますますの発展をお祈り申し上げ退任のあいさつといたします。